

第6回 OASIS PPS 委員会

日時：12月22日(木) 10:00~18:00

場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス

ボアソナードタワー7階 工学部研究室

出席者(敬称略)

西岡靖之(PSLX:法政大学)、松川信也(日立製作所)、水谷(ユニシス)、和田浩一(個人:ヤフー)、前田智彦(富士通)、川内晟宏(プロセス経営研究所)、他、オブザーバー(3名)

資料

PSLX コンソーシアム標準帳票

PPS Part2 Transaction Messages ドラフト(WD6)

午前

- ・ 前回のバージョン(WD5)にあった帳票例を削除した。
- ・ OASIS と PSLX との整合性について、PSLX の帳票を表現できるように OASIS の XML スキーマを設計する。
- ・ 帳票の例として、4章のサブセクションに事例を各1件程度残す。これに伴い、Appendix のサンプル事例は削除する。
- ・ Adobe の Acrobat7.0 を利用すれば、XML のバインディング仕様がなくてもメール添付方式で PPS が実装可能となる。サーバを持たない中小企業でも利用できる
- ・ パート2のスキーマは、各メッセージごと(たとえば CustomerList.xsd)で設定した。その中で、コア要素および共通のパート2要素をインポートしている。
- ・ PSLX 帳票内の表記方法について
 - #マークは、"type="に置き換える
 - #マークから始まるものは、"spec/"が省略されている。
 - 属性で終わっていないものは、"@value"が省略されている
 - 色が違う部分は、head 要素の下位に設定される。
- ・ Spec の拡張を行う場合で、同じ名前を複数回利用したい場合の対応について
 - 二回目以降は、-2、-3、...とする。
 - 一回目は特に修飾子はつけない。
 - 属性で使われている場合には、一回目でも-2、-3、...とする。(暫定)
 - 仕様書には、代表してひとつ分の意味を記述(拡張はユーザーに任せる)
- ・ 属性で設定した内容を、spec 要素でも指定可能とするかについて議論した。結論にはいわず。PSLX 簡易実装、あるいはクエリ対応として、この仕様が必要になる可能性が

ある。(簡易実装については、すでにパート1で導入済み)

- spec 拡張を行う場合の属性名(拡張名)の命名規則について、UBL(UN/CEFACT)のコアコンポーネント(CC)の考え方を採用する。ただし、CCが非常に厳密にオブジェクトモデルとの対応を管理しているのに対して、PPSは簡易版でいく。

午後(13:10より)

- 現時点では、計算式などは設定していない。クエリの拡張として対応する可能性はある。今後の検討課題だが、次期バージョンにしたほうがいだろう。
- パート1のコア要素のスキーマについて以下のような変更があった。
 - 要素の拡張用にはすべて type 属性を割り当てる。
 - 関係要素、プロパティ要素、事象要素に name 属性を設定し、任意の名称を設定可能とする(属性値の候補は仕様書では規定しない)。
 - 管理要素にあった name 属性は廃止し、すべて type 属性に移行する。
- BOMの内容について、階層構造を他段階で表現する帳票が欲しいという意見があった。この件については、現実的な多くの例では、一階層で十分であり、設計などの特殊なケースは今回は除外することとした。なお、問い合わせではなく、回答のみであれば、他段階の記述も現状の仕様で可能である。
- Compose や produce などの要素に対して、されに詳細な情報を description として設定できないようになっている。この点について対応を検討する必要がある。
- name 属性を便宜的にコメント欄として利用することは可能であるが、これはできれば避けたいという意見があった。新たな属性または要素を検討する。
- 拡張方法としては、char 要素を複数設定するという方法もあるが、読み取る側として意味を識別することが不可能となり規制したほうがいいという意見があった。
- パート2第3章について、メッセージ種類は、2.2.2 OASIS 9.0 への更新に応じて変更する可能性あり。
- 2.2.4 エラー要素については今後追加
- 第2章の章立ての修正を行う
 - 2.2.3~2.2.5 までがアプリケーション情報に相当する
 - 2.3 業務情報は、ヘッダ情報 とタイトルを統一すべき。
- パート2の4章と5章の対応関係がわかりづらい。オブジェクトとの関係では4章はどのように捉えるのか? 4章がメッセージであり、5章がオブジェクトとなる。1対1には対応していない。
- 5章の見出しが不適當。日本語では「業務オブジェクトモデル」となる。
- エレメントと混同するので5.1以降の見出しに「オブジェクト」を追加する。
- 在庫というオブジェクトがないのが気になるという意見があった。現時点では、複数のプリミティブ要素に属している。

今後の作業予定

- ・ 5章のメッセージのサンプルを20個作る 正月明けにメールで依頼する可能性あり
- ・ 仕様書から自社の帳票にあわせて、XMLを記述できるように手引きを作る
- ・ 実際にXMLを作ってみてフィードバックを得て、仕様を変更していく。
- ・ クエリーの仕様についてはこれから（特に問い合わせと修正）の課題である。

次回日程について

2月23日(木曜日) 10:00-18:00 MSTC(仮)

解散 17:30